

マシニングセンターのダウンサイジングで コスト削減し競争力を向上

事業計画名：原価低減による補修用ウォーターポンプ販路拡大

【概要】

少量生産のOEM用ウォーターポンプ構成部品ハブの対応、また国内全メーカーの補修用ウォーターポンプ製造・販売(自社ブランドACE)事業において、少ロット・低価格高品質を求められるなか原価低減を図り、市場競争力を向上させることにより販路拡大を目指す。

取組のきっかけ

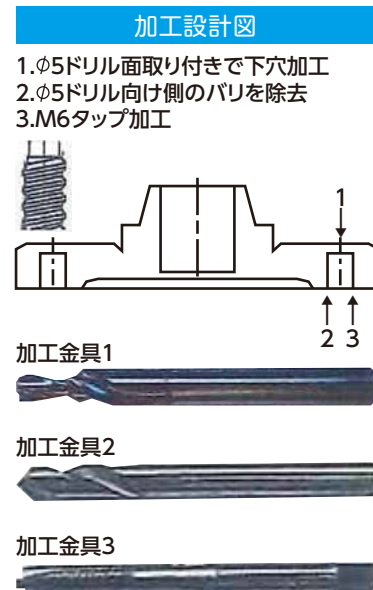
ウォーターポンプ構成部品の生産が多品種少量生産になり、採算性が悪化し問題となっていた。また、補修用ウォーターポンプ製造ラインにおける専用加工機は、段取り替え時に4本の刃物を個々に微調整する必要があるが、製品精度を出すまでには熟練度を要するほか、材料・時間のロスが多く多品種少量生産の障害となっていた。そこで、段取り替え時間の短縮による原価低減、量産化による販路拡大を主要テーマとした。

事業の目標

- 1 数十個から数百個程度の補修用ウォーターポンプの客先オーダーへの対応
 - ・多品種少量生産に適する加工機を導入する。
- 2 為替の影響を受けない市場競争力の具備
 - ・仕向け地向け価格設定へ対応する。
 - ・国内(秋田県)生産でも利益が出る体制を構築する。

具体的な内容とポイント

- 1 1軸加工で数値制御出来るマシニングセンターの導入および加工時間の短縮
 - ・2個取り加工で表面から下穴及び面取り加工後、反転して裏側バリ取り、ねじ加工をする。
- 2 加工部品の自動着脱
 - ・自動着脱ローダーにより工数削減及び段取り替え時のロス時間を短縮する。
- 3 試作品の品質評価及び加工工数確認
 - ・300程度連続加工を実施し、製品精度及び加工タイムを実測。その後、異なる部品に段取り替えし、段取り所要時間及び製品精度、加工タイムを確認する。



秋田渥美工業株式会社

昭和57年10月より自動車部品の製造会社として操業を開始し、今年度創業35年を迎える。その間にはウォーターポンプ部品の切削加工に始まりパワーステアリング部品加工、市販ウォーターポンプ販売、VCT関連の可変バルブ部品の切削加工と主要製品を増やしており、今後、市販ウォーターポンプのシェア拡大にむけて原価低減活動を行っている。



代表取締役社長 川口 夫美男
横手市安本字下御所野1-11
TEL: 0182-33-1711
FAX: 0182-33-2770
E-Mail : akita-kanri@atsumi-kogyo.co.jp

■資本金:4,000万円
■業種:輸送用機械機器製造業
■従業員数:140人

事業の成果

- 1 加工時間の短縮
 - ・加工時間50秒→44秒への短縮を実現した。
- 2 段取り時間短縮
 - ・2時間以上かかっていた段取り替え時間を25分に短縮できた。
- 3 試作品の品質確認
 - ・量産試作で各寸法は図面精度を実現した。



今後の展開

- 1 販路拡大
 - ・北米、中国、東南アジアでの販売を中心に拡大する。
- 2 低コストのハブの事業拡大
 - ・年間100万台の生産と販売の強化を目指す。

【強み・特徴】

- ・受注製品のデザイン・インから参画し、機能・性能・コストを追求ダイカスト鑄造から切削、研磨、組立まで一貫した製造が可能
- ・品質・原価の追求により、安価で高品質なものづくりを実現
- ・ISO9001、ISO14001認証取得